

■ 2001-2002 ■



岐阜中週報

平成 13 年 8 月 28 日(火)
第 443 号
第 518 回例会

MANKIND IS OUR BUSINESS

人類が私達の仕事 R.I.会長 リチャード D・キング

会 長 大 洞 長 栄
幹 事 加 藤 義 明
発行者 ウェブ委員会
委員長 長 井 義 夫
例 会 毎週火曜日 12 時 30 分
会 場 岐阜ルネッサンスホテル
事務局 岐阜市神田町 2-2
電 話 264-9235 番

副 会 長 挨拶

森 益男

去る7月29日の参議員選挙では、“変革”を旗印に掲げた小泉首相率いる自民党がほぼ圧勝を致しました。「行財政改革」の掛け声と共に、公共事業に対する批判や削減も大きな焦点の1つでした。

ところで数年前、私は世界最大規模の吊り橋「明石海峡大橋」を訪れたことがあります。阪神大震災の復興後の神戸の街の視察と淡路島に完成した「断層記念館」の見学をかねていました。

明石海峡大橋は2本の柱脚の高さが300メートルと100階建のビルにも匹敵し、全長は4キロにも及びます。大阪の御堂筋の全長や関西国際空港の滑走路の長さが同じ4キロであることを考えれば、そのスケールがわかるといえます。ここ数年で、日本の国際社会での評価は80年代とは違って急降下し、国内でも今回の選挙で争点になる程、土木建設業は叩かれています。

しかし、日本の技術は世界でも今だ

屈指のものであることを、この明石海峡大橋は物語っています。

かつて米国が長大吊り橋の建設では世界一を誇っていました。しかし、米国では30数年前から本格的な吊り橋を造っていない為、その高度な技術はデータとして残っていても、かつての世界一の水準を取り戻すことは非常に難しい状況です。

なぜか？技術というものはそれを受継いでいく人間の繋がりが、いったん断絶されるといくら記号化した情報が残っていても経験にもとづいて積み重ねられた微妙な部分が伝わらず、元の水準を取り戻すのは至難の技ということなのです。

技術者を一から教育することを含め、莫大な費用を要することもその一因です。これは土木技術のみでなく、建築（特に住宅等の職人）や工芸についても言えますし、ましてや、人（特に青少年）を育てることについても同じことが言えるのではないのでしょうか。

技術や教育にとって、マニュアル化されないところに人間の“潜在力”があって、それは面倒でも途切れること

なく継承してゆかねばならない、と思います。日本人は高度な技術の継承とそれを世界レベルに維持する力を持っています。経済性、合理性も大切ですが、それを離れた人間の知恵、文化の継承においてもそれを発揮するべきではないでしょうか？

幹 事 報 告

幹 事 加 藤 義 明

(1) 遅くなりましたが、会員名簿ができました。2冊あります。尚、緊急連絡網はクラブ活動計画書をお使い下さい。

(2) R I 規定審議会の休会日増設はプログラムと協議の結果、10月30日と4月30日に決定。

残念ですが、大熊・市原会員が退会された(7月末日)。会員数は50名。

(3) 岐阜市主催(文化・生涯学習課)のぎふ市民創作野外劇「信長本能寺への道」が長良川国際会議場野外特設ステージで行われます。日時は9月3日～5日でPM7:00開演。前売券は3000円です。

(4) 来週(8月28日)は、ガバナー補

前例会の記録

平成13年 7 月 21 日(火)

[点鐘]12時30分

[ソング]我等の生業

[ゲスト]卓話講師 岐阜信用金庫
常務理事 加藤昭彦様

[ビクター]

[出席]会員総数50名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席32名 64.00%

[行事]会長挨拶・食事・幹事報告・
委員会報告・ニコボックス報告

[卓話]「最近の市場動向について」
講師 岐阜信用金庫常務理事
加藤明彦様

担当 会員増強委員会

次 回 予 定 第519回

平成13年 9 月 4 日(火)

[点鐘]12時30分

[行事]お祝い行事・臨時総会

前年度会計監査報告
担当 前年度会計 大橋哲也会員

佐訪問日です。例会後クラブアッセンブリーがあります。

委員会報告

ウェブ委員会 長井 義夫

<お知らせ1>

岐阜中ロータリークラブ

ホームページアドレス

<http://www.gifunaka.com/>

電子メール アドレス

info@gifunaka.com

アクセスお待ちしております。

<お知らせ2>

8月3日事務局のパソコンがウイルスに感染しました。8月3日付け週報（E-mail添付）のメール配信の際、ウイルスメールが送られた疑い有りと連絡をしました。幸い感染前に配信

しており、会員への感染はありませんでしたが、ご心配をおかけしましたこととお詫び致します。

付きましては、今後注意いたしますが、感染の可能性は今後もあります。会員におかれましてはホームページ上で週報をご覧頂ければウイルスの心配は少なくなります。先日もお伝えしましたように基本的には9月より週報のEメール配信は致しません。どうしても、Eメール配信を希望される方はウェブ委員会まで申し出て下さい。（8月末日までに）

何卒、ご理解とご協力お願い致します。

<メールウイルス詳細>

今回被害がありましたウイルスは「W95 / MTX」、W32_MTX（マトリックス）などと呼ばれるものです。感染方法はメールの添付ファイルとして送られてきます。添付ファイル名

は、メール送信の日にちにより31種類あります。送信者から送信されたメールは2通あり、1通は送信者の意志で出された通常のメール、もう1通は添付ファイルのみのメールで件名と本文は空白です。こちらにウイルスが存在します。この添付ファイルを実行すると感染してしまいます。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

<http://www.jcsa.or.jp/w95mtx.html>
（日本コンピュータセキュリティ協会 HP）

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

加藤 明彦様

（岐阜信用金庫常務理事）

